

アカデミー共成委員会

①【アカデミー共成事業の企画・実施】

(現状と課題)

■私は2022年度に一般社団法人 飯塚青年会議所（以下、JCI飯塚）に入会しました。入会当初のJC活動はZOOM会議によるもので、初対面の方々との交流に距離感を感じ、信頼関係を築けるのか不安に感じました。新入会員（以下、アカデミーメンバー）は入会し現役メンバーと関わることで成長し、その中でJC運動・活動に対する楽しさを感じることで、積極的に参画して頂ける第一歩につながると考えます。また、信頼関係は人とひととの関わり合いの中で互いに切磋琢磨することで生まれ、構築されていきます。アカデミーメンバーと現役メンバーの信頼関係をより深めるためにも、自分の中にある当たり前を払拭し、互いの価値観や意見を認め合い、本来の個々がもつ素晴らしさを、共に追求する必要があります。

(目的)

JCI飯塚全メンバー：

■新たな価値観や意見を認め合い、取り入れることのできる人財へと成長して頂くことを目的とします。

アカデミーメンバー：

■JC運動・活動に積極的に参画して頂くことを目的とします。

(事業内容)

■アカデミーメンバーと現役メンバーをグループ分けし、活動を通して共に成長できる事業を企画・実施します。 (事業)

- 1) グループ分けし活動を行うことで、一人ひとりの当事者意識の向上につなげ、活動中も誰一人として取り残すことのないように努めます。
- 2) アカデミーメンバーとメンバーが共に活動できる場を創出し、信頼関係を構築していきます。
- 3) KPI アカデミーメンバーを含む、JCI飯塚全メンバーの事業参画率100%。
- 4) パートナー なし

②【9月例会アワーの企画・実施】

(現状と課題)

■アカデミーメンバーは入会后、現役メンバーと関わり合う機会がありますが、上手く馴染める方と、そうではない方がいて、個々に差があり深く関わっていないメンバーもいるように感じます。JC運動・活動により積極的に参画して頂くために、関わり合いの場を創出し、個々と個々が深い信頼関係を構築することが重要であり、まずはより多くの価値観や意見を認め合う人財になって頂く必要があると考えます。

(目的)

対内：

■アカデミーメンバーと現役メンバーが互いの価値観や意見を認め合える人財になって頂くことを目的とします。

(事業内容)

■9月例会アワーを企画・実施します。 (事業)

- 1) アカデミーメンバーと現役メンバーが関われる機会を提供します。
- 2) アカデミー事業で形成されたグループの幅を超えた関わり合いの場を提供します。
- 3) KPI JCI飯塚の出席率100%。
- 4) パートナー なし

③【忘年会の企画・実施】

(現状と課題)

■卒業生の皆様はJCI飯塚に入会し、明るく豊かな社会をつくるために邁進されてきました。卒業生には、改めて自らがこの地域のために行ってきた活動や修練・奉仕・友情を振り返る機会が必要であると考えます。また、現役メンバーには、本年度のスローガンであります「感恩報謝」の基、卒業生から頂いた恩を次につなげ、感謝の輪を広げていけるような忘年会を企画・実施し、卒業生を盛大に送り出す必要があります。

(目的)

対内（卒業生）：

■今までの活動と修練・奉仕・友情を振り返り、その経験を現役メンバーに伝えて頂き、新たな活動へと邁進してもらうことを目的とします。

対内（現役メンバー）：

■卒業生の今までの尽力に対して感謝し、盛大に送り出すとともに、JC運動・活動の一年を締めくくる忘年会の企画・実施という大役をアカデミーメンバー主体で行うことで、アカデミーメンバーそれぞれの一年間の集大成を現役メンバーに体感して頂き、次年度のJC運動・活動に対するモチベーションの向上につなげていくことを目的とします。

(事業内容)

■2023年度の忘年会を企画・実施します。 (事業)

- 1) JCI飯塚を支えてこられた卒業生の功績を称えるとともに労をねぎらい、メンバーには卒業生の想いに触れていただき、次年度につなぐ場を提供します。
- 2) 理事長のスローガンでもありますが、「感恩報謝」の気持ちを込めた忘年会を企画・実施します。
- 3) KPI JCI飯塚全メンバーの出席率100%。
- 4) パートナー なし

#### ④【HPの管理・更新】

##### (現状と課題)

■HPはJCI飯塚の活動状況を知って頂くための重要なツールです。しかしJCI飯塚のHPは事業前後にしか更新されていなく、変わり映えがないことが問題だと考えます。JCI飯塚のことを知らない方々に少しでも我々の活動に興味を抱いて頂くためにも、HPの更新方法について工夫をすることが重要であると考えます。そのためにはまず、JCI飯塚全メンバーが情報発信の重要性を理解して頂き、一丸となってHPの閲覧数を増加させる仕組みを構築していく必要があります。

##### (目的)

###### 対内:

■JCI飯塚の活動状況を発信することの重要性を理解して頂き、JCI飯塚全メンバーが一丸となって取り組み閲覧者数を増加させる仕組みを構築することを目的とします。

###### 対外:

■JCI飯塚の活動状況を随時発信し、我々の活動内容を理解して頂くことを目的とします。

##### (事業内容)

■JCI飯塚のHPの管理・更新を行います。 (推進)

- 1) JCI飯塚の活動状況を随時更新し、年間閲覧数を15,000人に増加させるように努めます。
- 2) SNSと連動し活動内容を随時更新していきます。
- 3) KPI 年間閲覧数の13,000人の達成。
- 4) パートナー ネット環境のあるの方々

#### ⑤【SNSによる活動・運動・事業の発信】

##### (現状と課題)

■SNSの発達により各地域の情報が手軽に手に入れられることができるようになってきました。しかし、JCI飯塚においてSNSの発信による目に見えた成果がないのが現状です。それはメンバーが情報発信の必要性について意識が低いからだと考えます。JCI飯塚全メンバーに情報発信の必要性を訴え続けることで理解して頂き、JCI飯塚全メンバーが一丸となって取り組む必要があります。

##### (目的)

###### 対内:

■JCI飯塚の活動状況を発信することの必要性を理解して頂き、JCI飯塚全メンバーが一丸となって取り組むことを目的とします。

###### 対外:

■SNSにてJCI飯塚の活動状況を随時発信し、我々の活動内容を理解して頂くことを目的とします。

###### 対外(他LOM):

■各地域のLOMとSNSにてつながり、活動状況を知ることで、互いのモチベーションの向上につなげていくことを目的とします。

##### (事業内容)

■SNSによるJCI飯塚の活動・運動・事業の発信を行います。 (推進)

- 1) JCI飯塚の活動状況を随時報告します。
- 2) HPと連動し活動内容を随時更新していきます。
- 3) KPI Instagramのフォロワー数2,000人以上の達成、Facebookの友達数1,500人以上の達成。
- 4) パートナー 他LOM・ネット環境のあるの方々

※1) Verは修正したら更新する。

※2) 英数字は半角を使用する。

※3) MSゴシック11Pを使用する。

# 年間事業フレーム

一般社団法人 飯塚青年会議所

アカデミー共成委員会

委員長 小川 陽幸

全  
国  
大  
会  
（  
大  
分  
）

世  
界  
会  
議  
（  
香  
港  
）

京  
都  
会  
議

A  
S  
P  
A  
C  
（  
ジャカルタ）

サ  
マ  
コ  
ン

全  
国  
大  
会  
（  
東  
京  
）

世  
界  
会  
議  
（  
ス  
イ  
ス  
）

運動・事業名	9月				10月				11月				12月				1月				2月				3月				4月				5月				6月				7月				8月				9月				10月				11月				12月			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4				
アカデミー共成事業の企画・実施					調査研究・ラフプラン作成 事業当日の場所の選定・確保				企画の構築				事業計画 協議クール				事業計画 審議クール				出物の作成				事業実施				検証				事業報告																															
																	広報								動員 連絡調整																																							
9月例会アワーの企画・実施																	調査研究								準備期間				事業実施				検証				事業報告				引継																							
																									事業計画 協議クール				事業計画 審議クール				動員																															
忘年会の企画・実施																	調査研究 場所の確保								ラフプラン 作成				事業計画 協議クール				事業計画 審議クール				準備期間 動員 連絡調整				事業実施				検証 事業報告																			
					HP管理者との 打合わせ				調査				SNSとの 運動 試験運用				HPの管理・更新																																															
SNSによる活動・運動・事業の発信					調査				HPとの 運動 試験運用				SNSによる活動・運動・事業の発信																																																			
					新春参加者リスト作成 連絡先の確認・連絡				招待状の作成 発送・連絡				事業実施				お礼状の発 送				事業報告・引継																																											
70周年記念室と共に行う70周年記念事業	70周年記念事業の方向性の確認																連携団体との連絡・会議等の協力 70周年記念室との交流								記念事業に向けての 意識の統一				広報活動 事前準備の協力				本番				検証・報告 引継ぎの協力																											
	JCI飯塚全体で取り組む感謝の輪を広げる会員拡大																拡大活動 リストアップ								拡大の必要性を理解する 入会メンバーフォローアップ 拡大見込メンバーとの交流																																							
JCI飯塚全体で取り組む山笠運営	山笠担当者との連絡調整・会議等への協力																本番				山笠担当者との連絡調整・会議等への協力																																											